



「奈良きたまち巡り」活動報告

担当班 3班

【実施日】 令和2年11月20日(金)

【天候】 雨のち曇りのち日本晴れ

【集合場所/時間】 転害門広場 10時頃

【参加人数】 49名

【コース】 転害門(世界遺産)→大仏池→正倉院(世界遺産)→旧細田家旧宅→石橋→北山十八間戸→般若寺→植村牧場(休憩)→旧奈良少年刑務所→多聞城跡→聖武天皇陵→奈良女子大学→旧鍋屋交番(なべかつ)→近鉄奈良駅

【ご案内】「旧鍋屋交番と奈良きたまちの会(なべかつ)」 代表者 瀬渡比呂志氏

「きたまち」はかつて奈良の北の玄関口として、京都や大阪から来た多くの旅人が行き交い、旅籠や商店が立ち並ぶ活気溢れる町でした。鎌(やじり)の穴も今なお残る天平時代の遺構**転害門**から出発、あざやかな紅葉・大仏殿を水面に映す**大仏池**、世界に誇る奈良・平安時代の宝庫**正倉院**、**旧細田家**など古い町並みを通り、奈良八重桜ゆかりの**知足院**を経て、慶安3年(1650)奈良奉行所が架け今も現役の**石橋**を渡りました。なだらかな奈良坂を登り、鎌倉時代に作られたハンセン病の施設**北山十八間戸**では管理人のおばさんが特別公開してくださいました。京街道から奈良への入り口に位置する古刹**般若寺**では間もなく散りゆくコスモスの花が迎えてくれました。明治創業の牛に人に優しい**植村牧場**では新鮮な牛乳とアイスクリームに行列ができました。明治時代の洒落たレンガ造りの**旧少年刑務所**はホテルに改装中。近世城郭建築の先駆けといわれる**多聞城跡**からは奈良の街が一望。静寂に包まれた**聖武天皇陵**、メルヘンチックな明治時代の洋風建築の**奈良女子大**。昭和初期の交番所が蘇ったガイド本部の**なべかつ案内所**を経て午後1時半ころ近鉄奈良駅に到着、解散としました。お腹ペコペコ、各班ごとに駅前周辺で昼食としました。



(転害門広場集合)



(大仏池 見事な紅葉)



(世界遺産 正倉院)



(コスモス残る般若寺)



(ハンセン病棟 北山十八間戸)



(間もなくホテルに 旧少年刑務所)

【所感】降雨率は最悪、どう考えても中止すべきでしたが今年の3班の担当で実施できたのは夏の六甲山だけでした。週刊天気予報は毎日変化、最終的には活動時間帯が降雨率予想最高となりました。ガイド下さる「なべかつ」様から大歓迎と連絡を受け、北山十八間戸の管理人、植村牧場から「お待ちしております」と電話があるともう中止できなくなりました。前日の企画会議で「雨を覚悟で実施させて欲しい」とお願いし認めていただきました。雨でも参加したい方だけでいいですと最終メールし49人のご参加を得ました。集合時は少し降っていましたが曇りになりやがて快晴となりました。「奈良きたまち」は歴史の宝庫です。「ぜひこれを機会に訪ねてください」がなべかつのメッセージです。グループを挙げてガイド下さった「なべかつ」の皆様、北山十八間戸の管理人、植村牧場の牧場主、そして雨予想にも関わらず参加くださったそら組の皆さまに感謝します。